

第6期西区区民会議 平成26年度 第2回会議 会議録

日 時	平成26年 6月11日(水) 14:00~16:00																
場 所	西区役所 2階大会議室																
出席者 (敬称略) 50音順	<p>■委員：出席15名</p> <table border="0"> <tr> <td>新井 佐和 公 募</td> <td>新井 良子 西区花いっぱい運動推進会</td> </tr> <tr> <td>井坂 功 さいたま市PTA連絡協議会西区連合会</td> <td>小野 順枝 公 募</td> </tr> <tr> <td>熊谷 安次 公 募</td> <td>小島 幸子 西区民生委員児童委員協議会</td> </tr> <tr> <td>島田 正次 西区自治会連合会</td> <td>並木 攻一 第5期委員(区長推薦)</td> </tr> <tr> <td>花崎 節子 公 募</td> <td>濱野 幸江 青少年育成さいたま市民会議西区連絡会</td> </tr> <tr> <td>星野 治男 公 募</td> <td>村瀬 敬子 西区スポーツ振興会</td> </tr> <tr> <td>望月 大亮 大宮アルディージャ(区長推薦)</td> <td>森川 照子 食生活改善推進員協議会</td> </tr> <tr> <td>矢部 恒男 さいたま市社会福祉協議会西区事務所</td> <td></td> </tr> </table> <p>■区 金子副区長(オブザーバー)</p> <p>■事務局(コミュニティ課) 岡村課長 飯塚係長 轡田主査 村田主事</p> <p>■運営支援(コンサル) 山口コンサルタント</p> <p>■傍聴者 なし</p>	新井 佐和 公 募	新井 良子 西区花いっぱい運動推進会	井坂 功 さいたま市PTA連絡協議会西区連合会	小野 順枝 公 募	熊谷 安次 公 募	小島 幸子 西区民生委員児童委員協議会	島田 正次 西区自治会連合会	並木 攻一 第5期委員(区長推薦)	花崎 節子 公 募	濱野 幸江 青少年育成さいたま市民会議西区連絡会	星野 治男 公 募	村瀬 敬子 西区スポーツ振興会	望月 大亮 大宮アルディージャ(区長推薦)	森川 照子 食生活改善推進員協議会	矢部 恒男 さいたま市社会福祉協議会西区事務所	
新井 佐和 公 募	新井 良子 西区花いっぱい運動推進会																
井坂 功 さいたま市PTA連絡協議会西区連合会	小野 順枝 公 募																
熊谷 安次 公 募	小島 幸子 西区民生委員児童委員協議会																
島田 正次 西区自治会連合会	並木 攻一 第5期委員(区長推薦)																
花崎 節子 公 募	濱野 幸江 青少年育成さいたま市民会議西区連絡会																
星野 治男 公 募	村瀬 敬子 西区スポーツ振興会																
望月 大亮 大宮アルディージャ(区長推薦)	森川 照子 食生活改善推進員協議会																
矢部 恒男 さいたま市社会福祉協議会西区事務所																	
次 第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 事</p> <p>(1) 前回の概要と今回の内容・進め方について</p> <p>(2) 提案書(原案)の確認</p> <p>(3) 次のテーマの選択</p> <p>(4) その他</p> <p>3. 閉 会</p>																
配布資料	<p>会議次第</p> <p>資料1：今回の会議の概要</p> <p>2：提言書「①体力づくり」(原案)</p> <p>参考：直売所情報</p>																

1. 開 会

- ・本日の欠席者の報告があった。
- ・本日の傍聴人はいない旨の報告があった。
- ・前回議事録について修正点がないことを確認し、確定した。(以上、事務局より)

2. 議 事

(1) 前回の概要と今回の内容・進め方について

- ・前回の会議概要と今回の会議の進め方について、資料1に基づきコンサルタントから説明があった。

(2) 提言書（原案）の確認

①ノルディックウオーキング講習会（前回会議）の確認

前回会議で実施した講習会の内容について、ビデオで再確認するとともに、感想や質疑応答、意見交換を行った。

【意見交換の主な内容】

- ・みんな飲み込みが早くてびっくりした。
- ・ポールの役割は何？
- ・全体の筋肉をまんべんなく使う効果がある。ただ歩くだけより効果があると医師も勧めている。体の先に出す杖の使い方ではない。
- ・初めてだったが、とても楽に速く進める。前へ押ししてくれる感じがする。体のバランスもいい。一直線に歩ける。気分がいい。科学的なことは分からないけど、気持ちよく楽しめる。
- ・モデルの歩き方に似ているかなと思った。
- ・ポールを持っていることで、きれいな形になる。ホームセンターでは2980円で売っていた。
- ・特別な器具を使わなくても、ストレッチがポールで出来ることがわかった。
- ・家の前を通る人がいるが、杖の使い方になっている。三橋の運動公園にいる人も同じ。今回の講習会で、機能が分かった。
- ・その使い方の違う人は、きちんと教わっていないということ？
- ・関心があるから購入したのだから、どこからか知識を得ているのだと思う。
- ・自己流になってしまう危険はあるけど、知らない人に指摘するのは難しい。
- ・正しい使い方をすれば、力を入れなくても体を押しもらえる、運んでもらえる感じ。きちんと習わないといけないと思う。
- ・区の広報に講習会のお知らせがある。講習会の様子を見ているとほぼ1回でマスターできると思う。
- ・ロコモシンドロームも少しずつ知られて来ているので、今回の提言書では、その予防や指導員育成などについても触れたい。

②提言書（原案）の確認

三役一任となっている「提言書（原案）」について、前回会議以降の修正等の内容について、以下の点を説明（確認）した。

【ロコモ予防の概念の反映】

- ・前回の会議において「ロコモ予防の考え方を反映したい」との意見に沿って、「ロコモ予防」の考え方を説明（確認）した。この結果、今回の「健康づくり」の提言の骨格とほぼ同じ考え方であることから、提言書の基本的な考え方として取り込むこととした。

【区（区長）の施策にあまり該当しないものの区別】

- ・区長（区）の施策事業などへの提言というよりも、区民が主体となって行うことが望ましい内容については、その旨の表示をしたことを説明した。また、あまり区長（区）としての役割がないものについては、最終的に三役の判断で削除（又は資料編として掲載）する予定であることを確認した。

【とりまとめと提出の時期】

- ・提言の確定と区長への提出の時期は、9月（来年度予算要望の時期）とするか、次のテーマと一緒に年度末にするか、三役と事務局で引き続き検討することとした。

【意見交換の主な内容】

- ・西区には大きな公園があまりないので、増設の必要性について初回に意見を出した。今なら農地はたくさんあるが、墓地がどんどん出来てしまう。公園を増やすことはできないのか？馬宮地区で子供を遊びに連れて行くには、自動車で三橋総合公園や川越の伊佐沼に行くしかない。浄水場の手前にも広い農地があり、後継者がいなくて乱開発につながる心配がある。武蔵野高校の前の資材置き場など、景観上も安全上も課題がある。

体力づくりに必要なものとして公園の整備を提案した、最終的になくなってしまった。

- ・趣旨としてはわかるが、大きな予算を伴うものは提言に盛り込むことは難しいという判断をしたと理解している。

→副区長）「現在の地域資源を活かした」という前提から、難しいと判断したものと思う。

- ・農地の売却は、個人の事情と経済的な理由があるから、なかなか思うようにはいかないと。農業全体を支えていくしくみも大切かなと思う。

→副区長）大きな公園は、都市計画に基づいた整備が必要。財政難で計画が進まない現状で、公園として暫定利用する場合も出てくる。都市計画づくりの中で、いろいろな要望は受けている。市としてもいい機会があれば積極的に進めていきたいと思っはいる。

(3) 次のテーマの選択

①これまでの経緯の説明

「体力づくり」の次の検討対象の選定について、以下の点を確認した。

- ・おおよそ「体力づくり」については収束してきたので、次のテーマに着手したいこと
- ・会議初期の委員アンケートにおいて、検討したいテーマとして「体力づくり」と「食習慣」が多かったこと。
- ・残りの会議が実質的に4回程度であることから、さらに対象を絞ってコンパクトな提言としたいこと。

②森川副会長（食生活改善推進員協議会から選出）から、活動の紹介

食生活改善推進員協議会は市の団体で、大宮市時代からの歴史は約10年、全国的には40年の歴史がある。

栄養士に健康にいい食事を教わり、調理実習を行い、その実績を一般区民に教室として伝授している。私達の健康は私達の手で、がスローガン。

運動、食事、睡眠が、健康の三大要素。西区の農地や果樹園といった食の地域資源があり。農家の方々の豊富な食材を地産地消したり、新しい食事やメニューを提言していきたい。

保健センターや公民館に調理室があるが、通常の会議などにも利用されており、本来の目的として十分に有効利用されていないのが残念と感じている。

【意見交換の主な内容】

- ・学校の給食では、地産地消は？
- ・指扇小では地元の食材を使っている。6月は地産地消月間になっている。
- ・学校へ食材を出す場合は、収量は落ちるが。消毒しすぎないように気を遣っている。
- ・指扇中の給食室に勤務している。地元のブルーベリーも使っている。いちご、きのこも使っている。生徒もよろこんでもらっている。おいしい食材がたくさんある。
- ・パレスホテルでも食材は採用されている。キウイなど珍しいものもある。
- ・地域のお米は愛されている。指扇の商工会で、地域のお土産を検討しているが、甘いお菓子がなくて模索している。駅からハイクで紹介できるのだが。
- ・西区ならではのものがあるといいと思う。高齢者の食事、特に一人暮らしの方、一人で作れない人の食生活を改善できるといい。誰かが楽しみに待ってくれる人がいるとやりがいがある。県庁の食堂で食育フェアをやっている。区役所の食堂でもできるといい。
- ・継続的な食堂となるとコストなどが課題になる。
→副区長) 区役所の食堂は、現在、空き店舗になっている。
- ・健康作りの視点からは、その効果を前面にPRしないといけない。高齢者の食事や栄養面が課題になっているが、作る人はいても配達する人がいないのが課題になっていると聞いた。その切り口でなにか提案できるといい。
- ・食生活改善委員会も長い歴史があるとのこと。戦後、高度成長時代など、その時々目標があったと思う。今は若い世代の貧困層で、栄養状態がよくないと感じている。一方で仕事で忙しい世代の食生活の問題もある。
- ・東京から来て、食生活の違いにびっくりした。自分も一反ほど畑があるが、近所ではたくさん消毒するのにびっくり。商品にするにはこれくらいしないといけない。でも自宅用とは別らしい。
子供に季節感がなくなっている。旬のトマトをあげても、子供はなんの感動もない。虫がついてることへの反応は「虫がいるほうが安全」「虫がついてるのはあまり気持ちが悪くない」との両方の反応がある。
- ・消毒については、みんないろいろ模索しているらしい。
- ・自分の家の食生活にも課題を感じている。子供が朝食をとらないこともある。好き嫌いがある。今は成人したけど、まだ直らない。子育てに反省している。地元の農産物も米しか知らなかった。直売所にも行く機会がなかったの。行ってみたいと思った。
- ・自分のまわりに食事制限している人が多くいる。1600キロカロリーと言われているが、よくわからない。意志が強くないとダイエットをきちんとするのは難しい。食べられないのはストレスになる。食べても太らない、夢の食事があるといい。
- ・戦後の食糧難、沖縄の食生活の急変化が印象的。西区の食育として何を考えていいか、まだよく分からない。
- ・私は引っ越してきて2年。この地域の伝統食は何？
- ・食品というよりは、料理がいくつかある。でも西区だけという狭い地域でのものはない。
- ・夏は冷や汁を良く食べた。
- ・昔は、野菜はみんな自給。にわとり、うさぎ。でも特殊な伝統的な料理はない。
- ・月に1回、会食をやっている。偏食の人は多い。
- ・昔は、家族分+1食を作り、隣近所にお裾分けしていた。今はつきあい方も難しくてやらなくなった。

- ・社協で会食の場を設けているが、男性は一人になるととても貧しい食事になると感じている。
- ・郷土食といえば「ごじる」を思い出した。豆乳で作るけんちん汁みたいなもの。調べてみて、何か提案できるといい。

(4) その他

特になし。

3. 閉 会

以 上